

平成23年度

予算



町の予算編成 2011

平成23年度の予算についてお知らせします。邑楽町における平成23年度の予算規模は、一般会計で75億4,600万円、前年度比8.1%増となりました。財政状況は、全国の同規模の自治体の中でもトップクラスの健全性を保っていますが、今後の少子高齢化の進展に伴い、社会保障関係経費の増加は避けられず、より一層堅実な財政運営が求められています。

歳入は、依然経済情勢が大変厳しい状況から、個人住民

税や固定資産税の減収が見込まれる一方、法人町民税は例年程度に回復が見込まれることなどから、35億2,501万円、対前年度比2.0%増となりました。
町債は、7億6,930万円、前年度比26.7%増。そのうち実質的な地方交付税である臨時財政対策債が5億6,000万円を占めています。また、繰入金、公共施設等整備基金などから4億2,825万円を繰り入れました。

歳出は経費削減に努め、効率的な財政運営を目指しました。主要施策として、生活、福祉面では、福祉医療費助成制度や地域生活支援事業の拡充などの諸事業に取り組み、産業振興面では、地産地消や商工団体育成支援事業の継続、中小企業融資制度などの利用促進を図ります。
土木面では、町道幹線3号線、同25号線および町道16・13号線などの整備を推進。また、一般個人木造住宅の耐震改修に対する補助制度を創設し、安全で安心して住み続けることのできる、まちづくりを進めます。教育面では、幼稚園・小中学校に配置する特別支援教育支援員を増員し、邑楽中学校の渡り廊下とその周辺の耐震補強工事を実施します。給食センターは7月末に完成予定で、第2学期から配食を開始します。

「町税」の内訳

項目	予算額	対前年比較
固定資産税	19億 186万円	- 3,879万円
町民税	13億 2,099万円	+ 1億 1,637万円
町たばこ税	1億 3,200万円	- 1,200万円
都市計画税	1億 1,350万円	+ 359万円
軽自動車税	5,666万円	+ 123万円
計	35億 2,501万円	+ 7,040万円

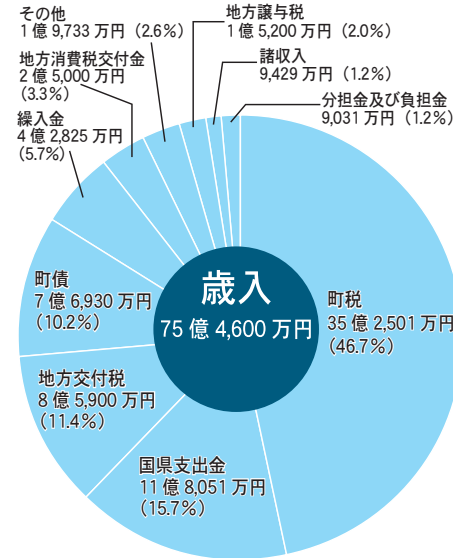
「その他」の収入の内訳

項目	予算額	対前年比較
使用料・手数料	6,779万円	+ 120万円
繰越金	5,000万円	± 0万円
地方特例交付金	3,900万円	- 830万円
自動車取得税交付金	2,600万円	- 1,800万円
交通安全対策特別交付金	480万円	- 20万円
利子割交付金	460万円	- 500万円
株式等譲渡所得割交付金	200万円	+ 90万円
配当割交付金	180万円	+ 50万円
財産収入	134万円	- 118万円
計	1億 9,733万円	- 3,008万円

特別会計

項目	予算額	対前年比較
国民健康保険	27億 6,910万円	- 1億 3,580万円
老人保健	0万円	- 29万円
後期高齢者医療	1億 8,506万円	- 2,462万円
介護保険	15億 3,588万円	+ 1億 1,196万円
下水道事業	3億 4,387万円	+ 313万円
学校給食事業	7億 2,414万円	+ 4億 8,730万円
水道事業	7億 5,331万円	- 6,050万円
(収益的収入)	5億 1,950万円	- 620万円
(資本的支出)	2億 3,381万円	- 5,430万円
計	63億 1,136万円	+ 3億 8,118万円

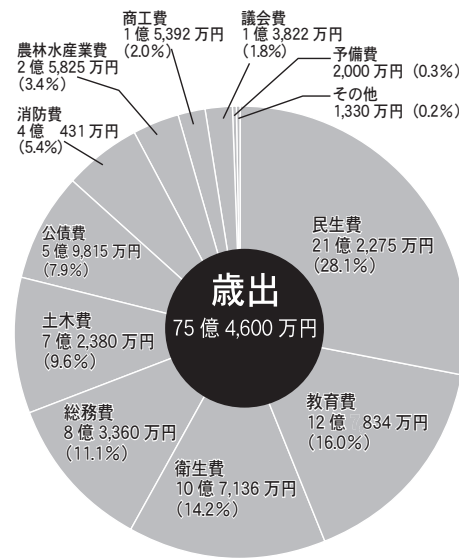
一般会計 歳入



一般会計予算
前年度比 8.1%増



一般会計 歳出



75億 4,600万円
福祉・教育に重点を置いた配分

「民生費」の内訳

項目	予算額	対前年比較
社会福祉費	10億 9,241万円	+ 5,746万円
児童福祉費	10億 2,242万円	+ 4,922万円
国民年金費	792万円	- 242万円

「衛生費」の内訳

項目	予算額	対前年比較
保健衛生費	5億 6,586万円	+ 3,841万円
清掃費	5億 489万円	- 2,244万円
上水道費	61万円	+ 9万円

「総務費」の内訳

項目	予算額	対前年比較
総務管理費	4億 4,569万円	- 5,739万円
徴税費	2億 4,176万円	+ 1,076万円
戸籍住民基本台帳費	1億 151万円	- 209万円
選挙費	4,287万円	+ 2,166万円
統計調査費	132万円	- 776万円
監査委員費	45万円	± 0万円

「教育費」の内訳

項目	予算額	対前年比較
保健体育費	4億 7,002万円	+ 3億 1,535万円
社会教育費	1億 9,097万円	+ 30万円
教育総務費	1億 7,536万円	+ 594万円
中学校費	1億 6,918万円	+ 1億 387万円
小学校費	1億 678万円	+ 918万円
幼稚園費	9,603万円	- 400万円

「土木費」の内訳

項目	予算額	対前年比較
都市計画費	3億 7,942万円	+ 876万円
道路橋りょう費	2億 2,396万円	+ 4,891万円
住宅費	8,197万円	+ 6,746万円
土木管理費	3,742万円	+ 8万円
河川費	103万円	+ 7万円

- ▼衛生費 ごみ処理や母子保健検診などに使われるお金
- ▼総務費 選挙や税金の徴収、広報誌の発行など、行政運営に使われるお金
- ▼教育費 学校や公民館など、教育施設の整備や運営に使われるお金
- ▼公債費 町債(借金)の返済に充てられるお金
- ▼土木費 橋や道路、公園や排水路などの整備に使われるお金
- ▼消防費 消防施設の整備費や、消防組合の負担金
- ▼商工費 町内の商工業者などの支援に使われるお金
- ▼農林水産業費 農家の支援や用水路の整備など、農業振興に使われるお金
- ▼議会費 町議会の運営などに使われるお金
- ▼労働費 雇用対策など、勤労者の支援に使われるお金
- ▼(性質別内訳) ※4ページ参照
 - ▼人件費 職員の給料や議員の報酬などに使われるお金
 - ▼補助費等 各種の補助金や負担金として使われるお金
 - ▼扶助費 福祉や医療の費用として使われるお金
 - ▼物件費 備品の購入や事業の委託費などに使われるお金
 - ▼繰出金 一般会計から特別会計に繰り出されるお金
 - ▼公債費 町債(借金)の返済に充てられるお金
 - ▼投資的経費 建物の建設や道路、公園などを整備するために使われるお金
 - ▼貸付金 商工振興の制度融資などに活用されるお金

ワンポイント！
簡単解説
予算用語

「一般会計と特別会計」
地方公共団体の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は、基本的・全般的な経費を管理する会計。特別会計は、特定の事業を行うために、歳入・歳出を一般会計と区分して経理する会計です。

「歳入」
▼町税 町民税(個人・法人)、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など、町が集めることのできる税金
▼国庫支出金 町が行う仕事に対して、国や県が出す補助金など。使い道はあらかじめ決められている
▼地方交付税 地方自治体の財政力に応じて、国から配分されるお金。自治体間の財政格差を縮め、全国どこでも必要最低限の生活ができるようにするもの
▼町債 町の借金。一時的に大きな支出が必要な時や、将来の町民も経費を負担するのがふさわしい場合に、決められた手続きで借りるお金
▼地方交付税交付金 消費税のうち、地方自治体に交付されるお金
▼繰入金 基金・預金、から繰り入れるお金、預金を下ろすようなもの
▼地方譲与税 国が国税として集めたお金を、地方自治体に配分するもの

「歳出」
▼民生費 主に高齢者、障害者子ども、ひとり親福祉などに使われるお金

平成 23 年度 当初予算 注目事業を一部紹介します

主な事業や新規・拡充事業など



次世代を担う子どもたちのために
そして、住みよいまちをめざして。

民生費 福祉などに使われるお金

■福祉医療費支給事業

中学校卒業までの児童、重度心身障害者、母子・父子家庭のかたが、社会保険などで医療を受けた場合の自己負担分を支給し、福祉の増進を図ります

1 億 9,712 万 8,000 円

■障害者福祉計画策定事業（新規）

ノーマライゼーションの考えに基づき、地域社会の中で健康者と共に生活するための福祉サービスの充実や生きがいなどを重視した「障害者福祉計画」を策定します

290 万 6,000 円

教育費 教育関係に使われるお金

■臨時補助教員等配置事業（拡充）

幼稚園・小中学校に配置する特別支援教育支援員を増員し、困難を抱えた児童生徒に寄り添った、きめ細かな教育の実現に取り組めます

7,936 万 5,000 円

■邑楽中学校耐震補強事業（新規）



邑楽中学校の 2 階渡り廊下の耐震補強工事および南校舎の一部改修工事を実施します。地震被害から生徒たちを守ります

3,276 万円

■邑楽中学校駐輪場等移設事業（新規）



邑楽中学校北側の町道幹線 25 号線の道路改良事業に伴い、道幅が広がるため、邑楽中学校駐輪場などの移設工事を行います

7,328 万円

■中野幼稚園耐震補強事業（新規）

中野幼稚園園舎の耐震補強工事が必要かどうかの診断を行います

221 万 6,000 円

衛生費 各種検診・ごみ処理などに使うお金

■感染症対策事業（拡充）

3 種ワクチン接種（子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン）に関係する経費も引き続き確保し、町民の生命と健康を守ります

3,413 万 6,000 円

■がん検診事業

女性の「子宮頸がん検診」、「乳がん検診」をはじめ、胃がん、大腸がん、前立腺がんなどの検診を推進し、がんの早期発見を図ります

3,904 万 9,000 円

■緑のカーテン事業



窓際などで生育させると、室温上昇を抑えて夏場の節電、暑さ対策に有効な、つる性植物で作る緑のカーテンを広め、温暖化防止を推進します

26 万 5,000 円

総務費 町の行政運営に使われるお金

■パスポート発給事務事業（新規）



県から権限移譲を受けて、役場でパスポートの発給業務を開始します。実際のパスポート発給の申請受け付け開始は、10 月を予定しています

67 万 2,000 円

土木費 道路や公園などの整備に使われるお金

■道路新設改良事業（拡充）



町道幹線 25 号線

町道幹線 25 号線や、町道幹線 3 号線および町道 16-13 号線などの道路改良事業を推進し、交通網整備と交通弱者に配慮した道づくりに取り組みます

1 億 5,800 万円

■石打町営住宅建替事業（新規）



老朽化した進む石打町営住宅

老朽化した石打町営住宅の建て替えを目指し、基本実施設計業務を委託します。また、埴掘町営住宅などの耐震診断も行います

6,714 万 2,000 円

■木造住宅耐震改修補助事業（新規）

旧建築基準法で造られた（昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工した一戸建て住宅または併用住宅）木造住宅の精密診断や耐震改修工事に対し、条件に合うものに補助金を交付します

315 万円

消防費 消防組合の活動や災害対策に使われるお金

■消防関係事業

町民の皆さんが安心して生活できるよう、防災訓練の実施や、消防団、婦人消防隊、館林地区消防組合との連携による被害の防止に努めます

4 億 431 万円

農林水産業費 農家支援や農業振興などに使われるお金

■農業振興地域整備促進事業（拡充）

農業振興地域整備計画の見直しなどを行い、農業にとって基礎的な資源である優良農用地の確保・保全に努めます

126 万 8,000 円

■国営総合農地防災事業（拡充）

ゲリラ豪雨や台風による農地のかん水被害を防ぐため、水管理システムを導入し、安定した農業経営の確保に努めます

7,810 万 9,000 円

■遊水池施設管理事業（新規）



理塚にある常光寺第 2 遊水池

国から町に移管された 2 つの遊水池（常光寺第 2 遊水池・神の前神明掘遊水池）の維持管理を適正に行っていきます

234 万 4,000 円

商工費 町の商工振興や消費者支援などに使われるお金

■企業誘致奨励金・企業立地奨励金

産業の活性化や雇用拡大を図るため、誘致企業や既存工場などの資本投下に対する補助を行います

5,926 万 2,000 円

■消費生活センター事業

消費生活問題に対応し、多重債務や架空請求、物品購入でのトラブルなどに関する情報提供なども行います

657 万 8,000 円

特別会計 特定の事業を行うための一般会計とは別のお財布

【学校給食事業】

■学校給食センター建設事業

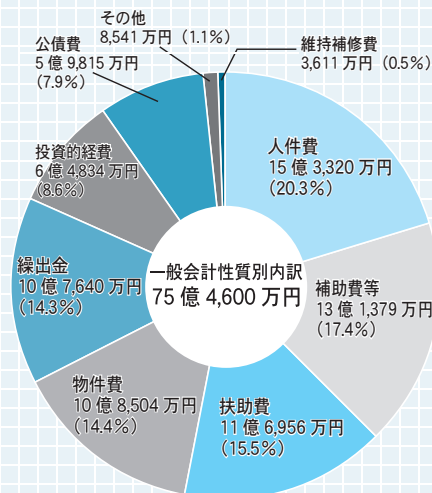
現在、建設工事が進んでいる学校給食センターは、7 月末完成予定。第 2 学期から配食を開始します

4 億 5,694 万 1,000 円



建設が進む学校給食センター

歳出 一般会計の性質別内訳



東北地方太平洋沖地震対策事業

被災された町民の皆様への支援などに使われるお金

3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震で、被害に遭われた町民の皆様に見舞金支給事業を行います。これらの費用は、平成 23 年度一般会計補正予算として、当初予算に追加されました。



■東北地方太平洋沖地震対策事業（補正予算）

地震により、家屋などの被害に遭われた町民の皆様に見舞金支給事業を行います。また、東北地方から邑楽町に避難されてきた人たちの食料費や、備品購入費、避難所の維持管理費用にあてられます

4,860 万円



災害復旧支援事業

被災された町民の皆様への復旧支援などに使われるお金

被災された町民の皆様への復旧支援として、災害復旧支援事業の費用が、平成 23 年度一般会計補正予算として、当初予算に追加されました。

■災害支援緊急資金融資利子補給金（補正予算）

家屋の被害を受けて、復旧のために支出した費用のうち、利子部分を町が補助する事業

20 万円